

福島第一原子力発電所の状況

平成 25 年 10 月 8 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (10/8 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*1	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 1.9m ³ /h	30.8	106.2 kPa abs	A系： 0.03 vol%
		給水系：約 2.5 m ³ /h			B系： 0.03 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 3.4 m ³ /h	41.2	8.38 kPa g	A系： 0.06 vol%
		給水系：約 1.8 m ³ /h			B系： 0.07 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 3.5 m ³ /h	40.8	0.23 kPa g	A系： 0.10 vol%
		給水系：約 2.0m ³ /h			B系： 0.11 vol%

*1: 絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

・H25/10/9 H25/9/9より1号サプレッションチェンバへの窒素封入を当面続けることとしたため、原子炉格納容器への窒素封入量が増加している状態が続いており、アウトリーク量を減らすため、原子炉压力容器への窒素封入量を 30Nm³/h から 24Nm³/h へ調整予定。

[3号機原子炉建屋5階中央部近傍(機器貯蔵プール側)での湯気発生状況]

・H25/10/5 7:55 頃 湯気をカメラにて確認。同日 8:00 までに確認したプラント状況、モニタリングポストの指示値等に異常は確認されていない(7:50 時点の気象データは、気温 15.7、湿度 97.3%)。

・H25/10/8 7:49 頃 湯気をカメラにて確認できないことを確認。(気象データ(10/3 8:00 時点)): 気温 24.4、湿度 68.2%)
プラント状況、モニタリングポストの指示値等異常なし。

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (10/8 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	25.5
2号機	循環冷却システム	運転中	25.3
3号機	循環冷却システム	運転中	24.6
4号機	循環冷却システム	運転中	29

各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルへヒドラジンの注入を適宜実施。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元	移送先	移送状況
3号機	3号機 タービン建屋	集中廃棄物処理施設(雑固体廃棄物 減容処理建屋[高温焼却炉建屋])	10/4 10:26 ~ 移送実施中

7/16 13:00 ~ 5, 6号機屋外の仮設タンク(9基)には、震災時に5, 6号機各建屋に流入した海水および地下水(メガフロート水)を貯蔵しているが、本仮設タンク水を5, 6号機タービン建屋滞留水と同様に淡水化处理(RO)を行うため、6号機北側にあるFエリアタンクへ移送を開始。

< 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (10/8 7:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設備 (ALPS)
運転 状況	停止中	運転中*	停止中	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	C系ホット 試験中

*フィルタの洗浄を適宜実施。

- ・H23/6/8 ~ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。
- ・H25/8/8 12:55 ~ 6/15 に多核種除去設備A系で発生したバッチ処理タンクからの水漏れについて、現在A系で実施している腐食防止対策をB系でも実施するため、同設備B系を停止。
再発防止対策を実施した上で、C系は9/27にホット試験を開始。A系は10月中旬、B系は11月以降を目処にホット試験を再開予定。
- ・H25/10/4 6:43 頃 多核種除去設備C系について、工程異常の警報が発生して停止。現在、循環待機運転を行っている。なお、多核種除去設備C系について、漏えい等の異常は確認されていない。その後、原因が特定できたことから同日18:31同設備C系を起動。
- 10/5 13:58 多核種除去設備A系の処理再開に向けて、A系の吸着材を交換する際に排出される廃液をC系バッチ処理タンクで受け入れることから、C系によるRO濃縮水の受入・処理を一時中断。

< 5. その他 >

- ・H25/10/8 輸送貯蔵兼用キャスク8基のうち、3基の搬入を実施。(残り5基は、11月上旬より適宜、搬入予定。)
- ・H25/10/8 3号機原子炉建屋がれき撤去作業に使用している600tクローラクレーンのジブと主マストの接合部材の損傷の再発防止対策を行いがれき撤去作業を再開。
- ・H25/10/7 9:47 頃 共通電源設備において、「母線電圧低」警報が発生し、所内共通電源設備(3B)が停止していることを確認。所内共通電源設備(3B)の停止を受けて、以下の状況を確認。なお、モニタリングポスト指示値の有意な変動、この停止によるけが人の発生、その他主要設備の異常は確認されてない。(10月7日公表)

その後、停止および自動で切り替わった設備のうち、以下の設備を復旧。

- ・2号原子炉格納容器ガス管理システムモニタ(B)

【H4エリアタンク・B南エリアからの水の漏えい関連】

<トピックス>

- ・10/6 H4エリア グループNo.5タンクの側板1段目の解体を実施。
- ・10/7 H4エリア グループNo.5タンクの底板部の解体を実施。

<最新のパトロール実績(10/7)>

- ・高線量当量率箇所(+ 線(70μm線量当量率))は確認されず。
- ・目視点検によりタンク全数に漏えい等がないこと(堰内溜まり水箇所の漏えいを除く)を確認。

<H4エリア周辺のサンプリング実績>

- ・有意な変動なし。

<福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

- ・有意な変動なし。

【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

<トピックス>

- ・1・2号機取水口間のウェルポイントおよび集水ピット(南)地下水から立坑Cおよび2号機タービン建屋への移送量は10/8 0:00 時点で約 2,851m³ *集水ピット(南)およびウェルポイントの総量

<地下水観測孔サンプリング実績>

- ・有意な変動なし。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

- ・H25/7/1 ~ 拡散防止対策およびサンプリングは継続実施中。(有意な変動なし)
- ・H25/10/3 ~ 地下貯水槽 No.1 の汚染範囲調査開始。
- ・H25/9/13 ~ 10/7 地下貯水槽 No.2 について、浮き上がりは確認されていないが、念のため砕石盛土を実施。
- ・H25/9/17 ~ 10/7 地下貯水槽 No.3 について、浮き上がりへの対策として、砕石盛土を実施。
この結果、地下貯水槽 No.2 ~ 4 の浮き上がり対策は完了し、浮き上がりは解消したと判断しているが、地下貯水槽については、引き続き水位状況について監視していく。

以上